

平成20年3月3日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 吉倉 廣 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成19年11月6日厚生労働省発食安第1106002号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくクロルフェナピルに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

(別添)

クロルフェナピル

1. 品目名：クロルフェナピル (Chlorfenapyr)

2. 用途：殺虫剤

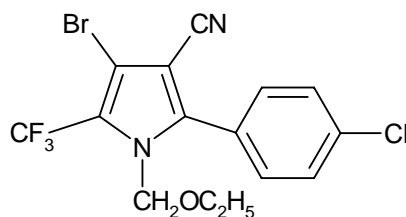
ピロール環を有する殺虫剤である。作用機構はミトコンドリアにおける酸化的リン酸化を阻害することにより作用すると考えられている。

3. 化学名

4-bromo-2-(4-chlorophenyl)-1-ethoxymethyl-5-trifluoromethylpyrrole-3-carbonitrile (IUPAC)

4-bromo-2-(4-chlorophenyl)-1-(ethoxymethyl)-5-(trifluoromethyl)-1*H*-pyrrole-3-carbonitrile (CAS)

4. 構造式及び物性



分子式	C ₁₅ H ₁₁ BrClF ₃ N ₂ O
分子量	407.6
水溶解度	0.12 mg/L (25°C)
分配係数	log ₁₀ Pow = 4.83 (25°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名、適用病害虫名、使用液量、使用時期となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

10%クロルフェナピルフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
りんご	キンモンホソガ ナミハダニ	2000 倍	200～ 700L/10a	収穫 3 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
	リンゴサビダニ ヨモギエダシャク	2000～ 4000 倍					
もも	ミカンキイロアザミウマ	2000 倍		収穫前日まで			
	モモハモクリガ カンザワハダニ ナミハダニ モモサビダニ						
	ナミハダニ カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ						
おとうとう	ナミハダニ カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ	2000 倍		収穫 14 日前まで			
ぶどう	ナミハダニ カンザワハダニ ハスモンヨトウ	2000～ 4000 倍					
	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ ミカンキイロアザミウマ						
かき	カキクダアザミウマ カキノヘタムシガ ナミハダニ カンザワハダニ イラガ類	2000 倍					
	チャノキイロアザミウマ	2000～ 4000 倍					
	カキサビダニ	4000 倍					

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	
なし	ナミハダニ カンザワハダニ ニセナシサビハダニ	2000～ 3000 倍	200～ 700L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	
	ヨモギエダシャク	2000 倍						
かんきつ	ミカンキイロアザミウマ ヨモギエダシャク	2000～ 4000 倍		収穫前日まで				
	ミカンサビダニ チャノホコリダニ チャノキイロアザミウマ	4000～ 6000 倍						
	ハスモンヨトウ リュウキュウミカンサビダニ	4000 倍						
	いちじく	ヒラズハナアザミウマ						
ネクタリン	モモハモクリガ カンザワハダニ ナミハダニ モモサビダニ	2000 倍		収穫7日前まで				
	ミカンキイロアザミウマ	2000～ 4000 倍						
さんしょう (果実)	チャノキイロアザミウマ	4000 倍		100～ 300L/10a				収穫3日前まで
さといも	カンザワハダニ							
あずき	ハダニ類							
きゅうり	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ハダニ類 ウリノメイガ	2000 倍	収穫前日まで					
	うり類 (漬物用)				ミナミキイロアザミウマ ハダニ類			
すいか	ミナミキイロアザミウマ	4000 倍						
トマト ミニトマト	オオタバコガ ミカンキイロアザミウマ ナミハダニ トマトサビダニ	2000 倍						

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数		
なす	ミナミキイロアザミウマ ミカンキイロアザミウマ チャノホコリダニ ハダニ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内		
ピーマン	ミカンキイロアザミウマ			収穫前日まで					
甘長とうがらし	ミナミキイロアザミウマ オオタバコガ								
キャベツ	コナガ アオムシ タマナギンウワバ ハスモンヨトウ ヨトウムシ シロイチモンジヨトウ オオタバコガ ハイマダラノメイガ			収穫 7 日前まで					
ブロッコリー	コナガ アオムシ ヨトウムシ			収穫前日まで					
茎ブロッコリー	アオムシ								
なばな	ハスモンヨトウ			収穫 7 日前まで					
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ								
さんとうさい	コナガ			1 回				1 回	
だいこん	コナガ アオムシ			収穫 14 日前まで				2 回以内	2 回以内
チンゲンサイ	コナガ			収穫 7 日前まで				1 回	1 回
こまつな	コナガ アオムシ			収穫 14 日前まで					

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
みょうが (花穂)	ハダニ類	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布 但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する	2 回以内
みょうが (茎葉)				みょうが (花穂) の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで			
いちご	ハダニ類 ハスモンヨトウ			育苗期～ 開花期まで			
ねぎ	シロイチモンジヨトウ			収穫 7 日前まで			
オクラ	ハスモンヨトウ オオタバコガ			収穫前日まで			
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ ナモグリバエ			収穫 7 日前まで			
モロヘイヤ	アザミウマ類			収穫 14 日前まで			
あしたば	ウドノメイガ			収穫 7 日前まで	2 回以内		
カリフラワー	コナガ			収穫 3 日前まで			
やまのいも	カンザワハダニ			収穫前日まで			
やまのいも (むかご)				収穫 3 日前まで			
かんしょ	ハスモンヨトウ ハダニ類			収穫前日まで			
はすいも (葉柄)	カンザワハダニ			収穫 3 日前まで			
さといも (葉柄)							
ひろしまな	アオムシ	収穫 7 日前まで					

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	
アスパラガス	ハダニ類 オオタバコガ	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内	
ふき	ハスモンヨトウ ハダニ類			収穫 7 日前まで				
てんさい	ヨトウムシ ハダニ類							
マンゴー	チャノキイロアザミウマ		200～ 700L/10a	収穫 14 日前まで	1 回		1 回	
ゴレンシ	カンザワハダニ							
メキャベツ	ハスモンヨトウ		4000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内		2 回以内	
葉にんにく	ハダニ類			収穫 14 日前まで				
みつば	ハスモンヨトウ							
セルリー	ヨトウムシ							
コリアンダー(葉)	ハスモンヨトウ							
ししとう	ヒラズハナアザミウマ	100～ 300L/10a		収穫前日まで		2 回以内		2 回以内
にがうり	ミナミキイロアザミウマ			収穫 3 日前まで				
実えんどう	ハスモンヨトウ			収穫 14 日前まで				
エンサイ	ハスモンヨトウ	2000 倍		収穫 7 日前まで		2 回以内		2 回以内
やなぎたで	ハダニ類			収穫 14 日前まで				
つわぶき	ハダニ類		収穫前日まで					
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ ハダニ類 オオタバコガ	2000 倍	200～ 400L/10a	摘採 7 日前まで	2 回以内	2 回以内		
食用プリムラ	ハスモンヨトウ							
かぼちゃ (日本かぼちゃ)	ミナミキイロアザミウマ							
茶	チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミウマ カンザワハダニ チャノナガサビダニ チャノホコリダニ ヨモギエダシヤク チャノコカクモンハマキ マダラカサハラハムシ							

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

適用場所	作物名	適用病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
温室、ガラス室等 密閉できる場所	みかん	ミカンキイロアザミウマ	300mL/10a	10L/10a	収穫前日まで	2回以内	常温 煙霧	2回以内
	ぶどう	チャノキイロアザミウマ	150mL/10a	6L/10a	収穫14日前まで			

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

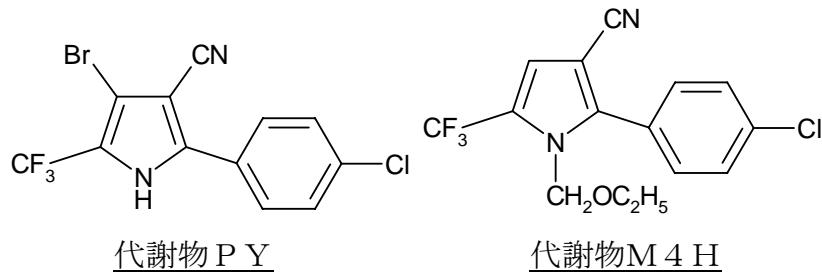
作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
いちご	ハダニ類 ハスモンヨトウ	2000倍	150～ 300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
とうがらし類	ミカンキイロアザミウマ ミナミキイロアザミウマ オオタバコガ		150～ 300L/10a	収穫前日まで			
かぶ	コナガ		100～ 300L/10a	収穫前日まで			
さやえんどう	ハスモンヨトウ			収穫7日前まで			
非結球メキャベツ				収穫前日まで			
すいぜんじな	ナミハダニ ヨトウムシ	2000倍 2000～ 4000倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで			
りんご	キンモンホソガ ナミハダニ			2000倍	収穫前日まで		
	ヨモギエダシャク						
非結球レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ	2000倍	100～ 300L/10a	収穫3日前まで	1回	散布	1回
	コナガ						
ひろしまな	アオムシ コナガ	2000倍	200～ 700L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
バナナ	バナナツヤオサゾウムシ			収穫14日前まで			
よもぎ	アザミウマ類			100～ 300L/10a			

6. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・ クロルフェナピル
- ・ 4-ブromo-2-(4-クロロフェニル)-5-トリフルオロメチルピロール-3-カルボニトリル (代謝物 P Y)
- ・ 2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル-5-トリフルオロメチルピロール-3-カルボニトリル (代謝物 M 4 H)



② 分析法の概要

試料をアセトン抽出し、n-ヘキサンに転溶後、フロリジルカラムクロマトグラフィーで精製し、ガスクロマトグラフ (NPD 又は ECD^{注)}) で定量する。代謝物については、n-ヘキサンに転溶後、固相抽出ミニカラムで精製し、メチル化しガスクロマトグラフ (NPD) で定量する。代謝物の分析値については、クロルフェナピルに換算した値で示した。

注) NPD: Nitrogen Phosphorus Detector (窒素リン検出器)

ECD: Electron Capture Detector (電子捕獲検出器)

定量限界 クロルフェナピル: 0.004~0.3 ppm

代謝物 P Y: 0.006~0.02 ppm

代謝物 M 4 H: 0.006 ppm

(2) 作物残留試験結果

⑧かき以降の作物残留試験については、代謝物 P Y 及び代謝物 M 4 H について分析が実施されていないことから、クロルフェナピルの分析値のみを記載している。

① りんご

りんご (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布 (500L/10a) したところ、散布後 21~42 日の最大残留量^{注)} は以下のとおりであった。

クロルフェナピル: 0.291、0.108 ppm

代謝物 P Y: <0.006、<0.006 ppm

りんご (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、10%フロアブルの 2,000

倍希釈液を計 2 回散布 (500L/10a) したところ、散布後 3~14 日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル : 0.38、0.420 ppm

代謝物 P Y : <0.006、<0.006 ppm

りんご (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布 (400, 600L/10a) したところ、散布後 1~21 日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル : 0.60、0.69 ppm

②だいこん

だいこん (根部) を用いた作物残留試験 (2 例) において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布 (200L/10a) したところ、散布後 14~21 日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル : 0.014、0.02 ppm

代謝物 P Y : <0.006、<0.006 ppm

代謝物 M 4 H : <0.006、<0.006 ppm

だいこん (葉部) を用いた作物残留試験 (2 例) において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布 (200L/10a) したところ、散布後 14~21 日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル : 0.27、1.42 ppm

代謝物 P Y : 0.012、0.019 ppm

③キャベツ

キャベツ (葉球) を用いた作物残留試験 (2 例) において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布 (200L/10a) したところ、散布後 7~21 日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル : 0.124、0.22 ppm

代謝物 P Y : <0.006、<0.006 ppm

代謝物 M 4 H : <0.006、<0.006 ppm

④なす

なす (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布 (300, 200L/10a) したところ、散布後 1~7 日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル : 0.324、0.164 ppm

代謝物 P Y : <0.006、<0.006 ppm

⑤きゅうり

きゅうり (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、10%フロアブルの

2,000倍希釈液を計2回散布(300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル：0.166、0.118 ppm

代謝物 P Y：<0.006、<0.006 ppm

⑥はくさい

はくさい(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル：0.14、0.09 ppm

代謝物 P Y：<0.006、<0.006 ppm

⑦茶

茶(荒茶)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(400L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル：30.8、15.8 ppm

代謝物 P Y：0.37、0.09 ppm

茶(浸出液)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(400L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル：0.36、0.22 ppm

代謝物 P Y：<0.02、<0.02 ppm

茶(荒茶)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布(400L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル：20.3、28.6 ppm

茶(浸出液)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布(400L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

クロルフェナピル：0.38、0.64 ppm

⑧かき

かき(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(500L/10a)したところ、散布後14~28日の最大残留量は0.39、0.14 ppmであった。

⑨いちご

いちご(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000

倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後22, 57日の最大残留量は0.04、0.03 ppmであった。

いちご(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200, 250L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.30、1.54 ppmであった。

⑩なし

なし(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(500L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.35、0.28 ppmであった。

⑪レタス

レタス(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.21、0.09 ppmであった。

⑫てんさい

てんさい(根部)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.12、0.05 ppmであった。

⑬ブロッコリー

ブロッコリー(花蕾)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.174、0.420 ppmであった。

⑭みかん

みかん(果肉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(500L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.07、0.03 ppmであった。

みかん(果皮)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(500L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は2.24、0.74 ppmであった。

みかん(果肉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの33.3倍希釈液を計2回常温煙霧(10L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は<0.02、<0.02 ppmであった。

みかん(果皮)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの33.3倍希釈液を計2回常温煙霧(10L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は3.90、1.69 ppmであった。

⑮なつみかん

なつみかん（果実全体）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.35、0.73 ppmであった。

なつみかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は<0.01、<0.01 ppmであった。

なつみかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は1.14、2.32 ppmであった。

⑯ゆず

ゆず（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.26、0.48 ppmであった。

⑰もも

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は<0.01、<0.01 ppmであった。

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は3.52、2.22 ppmであった。

⑱ピーマン

ピーマン（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.20、0.36 ppmであった。

⑲チンゲンサイ

チンゲンサイ（葉茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は1.38、0.52 ppmであった。

⑳オクラ

オクラ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計1回又は2回散布（150L/10a）したところ、散布後1～3日の最大残留量は0.22、0.30 ppmであった。

㉑おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの

2,000倍希釈液を計2回散布(500L/10a)したところ、散布後14~22日の最大残留量は0.32、0.12 ppmであった。

②あずき

あずき(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は<0.01、<0.01 ppmであった。

③葉ねぎ

葉ねぎ(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は1.30、0.74 ppmであった。

④根深ねぎ

根深ねぎ(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.90、0.82 ppmであった。

⑤トマト

トマト(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.09、0.12 ppmであった。

⑥ぶどう

ぶどう(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(350L/10a)したところ、散布後14~30日の最大残留量は0.08、0.84 ppmであった。

ぶどう(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(333, 300L/10a)したところ、散布後14~45日の最大残留量は2.39、0.83 ppmであった。

ぶどう(果実)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの40倍希釈液を計2回散布(6L/10a)したところ、散布後14~45日の最大残留量は0.16 ppmであった。

ぶどう(果実)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの85倍希釈液を計2回散布(12.8L/10a)したところ、散布後14~30日の最大残留量は0.27 ppmであった。

⑦さといも

さといも(塊茎)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの

2,000倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は <0.005 ppmであった。ただし、この試験は適用範囲内で行われていない。

さといも(塊茎)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~14日の最大残留量は 0.006 ppmであった。

さといも(葉柄)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は 0.50 、 0.08 ppmであった。

⑳ アスパラガス

アスパラガス(茎)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は 0.20 、 0.02 ppmであった。

㉑ ふき

ふき(葉柄)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(150L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は 0.22 、 0.34 ppmであった。

㉒ いちじく

いちじく(可食部)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は 0.20 、 0.48 ppmであった。

いちじく(可食部)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は 0.45 ppmであった。

㉓ すいか

すいか(果肉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は <0.01 、 <0.01 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㉔ こまつな

こまつな(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布(200L/10a)したところ、散布後3~21日の最大残留量は 2.84 、 2.28 ppmであった。

こまつな(茎葉)を用いた作物残留試験(1例)において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布(200L/10a)したところ、散布後7~14日の最大残留量

は 1.22 ppm であった。

③③ みょうが

みょうが（花穂）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は <0.05、<0.05 ppm であった。

③④ ししとう

ししとう（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（200L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.90、2.35 ppm であった。

ししとう（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 4,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.42、0.27 ppm であった。

③⑤ 伏見甘長とうがらし

伏見甘長とうがらし（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（200L/10a）したところ、散布後 1～7 日の最大残留量は 0.51、0.68 ppm であった。

③⑥ モロヘイヤ

モロヘイヤ（茎葉）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を 1 回散布（260, 160L/10a）したところ、散布後 14～21 日の最大残留量は 0.36、0.16 ppm であった。

③⑦ あしたば

あしたば（茎葉）を用いた作物残留試験（2 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 7～14 日の最大残留量は 0.6、<0.3 ppm であった。

③⑧ カリフラワー

カリフラワー（花蕾）を用いた作物残留試験（1 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（300L/10a）したところ、散布後 3～14 日の最大残留量は 0.38 ppm であった。

カリフラワー（花蕾）を用いた作物残留試験（1 例）において、10%フロアブルの 2,000 倍希釈液を計 2 回散布（380L/10a）したところ、散布後 3～13 日の最大残留量は 0.154 ppm であった。ただし、この試験は適用範囲内で行われていない。

③⑨ やまのいも

やまのいも（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300, 500L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は<0.01、<0.01 ppmであった。ただし、500L/10a散布された試験は適用範囲内で行われていない。

やまのいも（むかご）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は0.57、0.66 ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

④⑩ かんしょ

かんしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は<0.01、<0.01 ppmであった。

④⑪ はすいも

はすいも（葉柄）を用いた作物残留試験（1例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.06 ppmであった。

はすいも（葉柄）を用いた作物残留試験（1例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.08 ppmであった。

④⑫ ひろしまな

ひろしまな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は1.06、2.74 ppmであった。

④⑬ ネクタリン

ネクタリン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（400, 600L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.28、0.45 ppmであった。

④⑭ さんしょう

さんしょう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの4,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は0.72、0.56 ppmであった。

④⑤ サラダ菜

サラダ菜（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（260, 300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は7.58、4.38 ppmであった。

サラダ菜（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は4.88、11.6 ppmであった。

④⑥ リーフレタス

リーフレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は2.84、6.14 ppmであった。

リーフレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は11.0、5.66 ppmであった。

④⑦ ミニトマト

ミニトマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300, 200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.20、0.12 ppmであった。

④⑧ かぶ

かぶ（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は9.60、4.66 ppmであった。

かぶ（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.02、0.05 ppmであった。

かぶ（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～21日の最大残留量は9.52、5.36 ppmであった。

かぶ（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（270L/10a）したところ、散布後1～21日の最大残留量は0.02、0.04 ppmであった。

④⑨ 未成熟えんどう

未成熟えんどう（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200, 460L/10a）したところ、散布後1～7日

の最大残留量は0.58、0.96 ppmであった。ただし、460L/10a 散布された試験は適用範囲内で行われていない。

⑤⑩ すいぜんじな

すいぜんじな（葉茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は11.2、4.0 ppmであった。

⑤⑪ 非結球芽キャベツ

非結球芽キャベツ（えき芽葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.38、0.24 ppmであった。

非結球芽キャベツ（本葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は4.62、5.82 ppmであった。

⑤⑫ みずな

みずな（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（100L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は1.28、4.86 ppmであった。

⑤⑬ 山東菜

山東菜（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は0.88、1.96 ppmであった。

⑤⑭ 茎ブロッコリー

茎ブロッコリー（花蕾と花茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.39、0.72 ppmであった。

⑤⑮ なばな

なばな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.96、0.95 ppmであった。

⑤⑯ マンゴー

マンゴー（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は0.085、0.080 ppmであった。

⑤7 ゴレンシ

ゴレンシ（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は0.74、0.74 ppmであった。

⑤8 芽キャベツ

芽キャベツ（脇芽）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は<0.05、0.08 ppmであった。

⑤9 葉にんにく

葉にんにく（葉と鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（200-220, 167L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.22、0.14 ppmであった。

⑥0 みつば

みつば（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（100L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は1.3、0.8 ppmであった。

⑥1 セルリー

セルリー（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（167, 300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は1.39、1.36 ppmであった。

⑥2 コリアンダー

コリアンダー（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（150, 200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は1.50、1.48 ppmであった。

⑥3 にがうり

にがうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.4、0.2 ppmであった。

⑥4 エンサイ

エンサイ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は<0.05、0.91 ppmであった。

⑥⑤やなぎたで

やなぎたで（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は1.45、0.55 ppmであった。

⑥⑥つわぶき

つわぶき（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は0.058、0.052 ppmであった。

⑥⑦食用ぎく

食用ぎく（花全体）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200, 493L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.390、1.008 ppmであった。ただし、493L/10a散布された試験は適用範囲内で行われていない。

⑥⑧食用プリムラ

食用プリムラ（花器全体）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は0.57、0.62 ppmであった。

⑥⑨かぼちゃ

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.06、0.12 ppmであった。

⑦⑩バナナ

バナナ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は0.28、0.83 ppmであった。

⑦⑪よもぎ

よもぎ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（200-300, 200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は3.93、4.94 ppmであった。

これらの試験結果の概要については、別紙1-1、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1-2を参照。

注)最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

(参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)

7. 乳牛における残留試験

乳牛に対して飼料中濃度としてクロルフェナピル0、0.66、2.19、6.81ppmに相当する量のクロルフェナピルを28日間にわたり経口投与し、乳、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロルフェナピル含量を測定した。(定量限界：筋肉、脂肪及び乳：0.01ppm、肝臓及び腎臓：0.05ppm)。結果については表1参照。

上記の結果に関連して、オーストラリアでは、乳牛、羊及び豚における最大理論的飼料由来負荷(MTDB)^{注)}はいずれも0.47ppmと評価している。

表1. 組織中の最大残留(ppm)

	0.66ppm 投与群	2.19ppm 投与群	6.81ppm 投与群
筋肉	<0.01	<0.01-0.017	<0.01-0.022
脂肪	0.031-0.067	0.165-0.429	0.153-0.597
肝臓	<0.05	<0.05	<0.05
腎臓	<0.05	<0.05	<0.05
乳	<0.01	<0.01-0.035	<0.01-0.042

注)最大理論的飼料由来負荷(Maximum Theoretical Dietary Burden: MTDB)：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考：Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

8. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してフェニル環を均等に標識したクロルフェナピル(Phe-¹⁴C)またはピロール環の2位を標識したクロルフェナピル(Pyr-¹⁴C)を7日間にわたりカプセル経口投与(低用量群：0.22mg/kg体重(飼料中3.02~3.10ppm相当))、高用量群：1.1mg/kg体重(同14.42~15.04ppm相当))し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれる総残留放射能濃度及び液体クロマトグラフ(MSD)を用いてクロルフェナピルについて測定を行った(定量限界：0.01ppm)。また、鶏卵についても投与開始後1~7日に採卵し総残留放射能濃度及びクロルフェナピルについて分析した。詳細については表2参照。

上記の結果に関連して、オーストラリアではMTDBを0.44ppmと評価している。

表 2. 組織中のクロルフェナピルの最大残留 (ppm)

	Phe- ¹⁴ C		Pyr- ¹⁴ C	
	低用量	高用量	低用量	高用量
筋肉	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
脂肪	0.04	0.39	0.07	0.29
肝臓	<0.01	0.04	<0.01	0.03
腎臓	0.02	0.05	<0.01	0.04
鶏卵	0.03	0.17	0.03	0.16

9. ADI の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、平成 17 年 10 月 4 日付け厚生労働省発食安第 1004002 号及び同法第 24 条第 2 項の規定に基づき、平成 18 年 7 月 18 日付け厚生労働省発食安第 0718029 号により食品安全委員会あて意見を求めたクロルフェナピルに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：2.6 mg/kg 体重/day
 (動物種) ラット
 (投与方法) 混餌投与
 (試験の種類) 慢性神経毒性試験
 (期間) 1 年間

安全係数：100

ADI : 0.026 mg/kg 体重/day

10. 諸外国における使用状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてなす科野菜に、EUにおいて大麦、野菜類等に、オーストラリアにおいてりんご、畜産物等に基準値が設定されている。

11. 基準値案

(1) 残留の規制対象

クロルフェナピル本体のみ

一部の作物残留試験において代謝物 PY 及び代謝物 M4H の分析が行われているが、代謝物 PY 及び代謝物 M4H の残留はクロルフェナピルの残留に比べて十分に低いことから、規制対象物質としては含めないこととする。

なお、食品安全委員会によって作成された農薬評価書においては、暴露評価対象物質としてクロルフェナピルを設定している。

(2) 基準値案

別添 2 のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について、本薬が基準値案の上限の量まで残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（推定一日摂取量（E D I））のA D Iに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 3 参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	E D I / A D I (%) ^{注)}
国民平均	21.2
幼小児（1～6 歳）	37.4
妊婦	18.6
高齢者（65 歳以上）	23.5

注) 個別の作物残留試験成績がある食品についてはE D I 試算、それ以外の食品についてはT M D I 試算を行った。

T M D I 試算は基準値案×摂取量の総和として計算している。E D I 試算は作物残留試験成績の平均値×摂取量の総和として計算している。

(4) 本剤については、平成 17 年 11 月 29 日付け厚生労働省告示第 499 号により、食品一般の成分規格 7 に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

クロルフェナピル国内作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【クロルフェナピル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	21, 28, 42日	圃場A:0.291 (2回、21日) 圃場B:0.108 (2回、21日)
りんご※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.38 (2回、14日) 圃場B:0.420 (2回、7日)
りんご※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400, 600L/10a	2回	1, 7, 21日	圃場A:0.60 (2回、7日) 圃場B:0.69
だいこん (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.014 圃場B:0.02
だいこん (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.27 圃場B:1.42
キャベツ※ (葉球)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.124 圃場B:0.22
なす※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300, 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.324 圃場B:0.164
きゅうり (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.166 圃場B:0.118
はくさい (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.14 (2回、14日) 圃場B:0.09
茶※ (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:30.8 圃場B:15.8
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.36 圃場B:0.22
茶※ (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	7, 14, 21日 7, 14日	圃場A:20.3 圃場B:28.6
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	1回	7, 14, 21日 7, 14日	圃場A:0.38 圃場B:0.64
かき※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.39 圃場B:0.14
いちご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	22日 57日	圃場A:0.04 (2回、22日) 圃場B:0.03 (2回、57日)
いちご※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.30 圃場B:1.54
なし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.35 圃場B:0.28
レタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.21 圃場B:0.09
てんさい※ (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.12 (2回、14日) 圃場B:0.05 (2回、14日)
ブロッコリー※ (花蕾)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.174 圃場B:0.420
みかん (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.07 圃場B:0.03
みかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:2.24 圃場B:0.74
みかん (果肉)	2	10%フロアブル	33.3倍常温煙霧 10L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02
みかん※ (果皮)	2	10%フロアブル	33.3倍常温煙霧 10L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:3.90 (2回、3日) 圃場B:1.69
なつみかん (果実全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.35 (2回、7日) 圃場B:0.73 (2回、3日)
なつみかん (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【クロルフェナビル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なつみかん (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:1.14 (2回、7日) 圃場B:2.32 (2回、3日)
ゆず (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.26 (2回、3日) 圃場B:0.48 (2回、7日)
もも (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日 1, 3日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
もも (果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	1, 3, 7日 1, 3日	圃場A:3.52 (2回、3日) 圃場B:2.22 (2回、3日)
ピーマン (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.20 圃場B:0.36
チンゲンサイ (葉莖)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:1.38 (1回、7日) 圃場B:0.52 (1回、7日)
オクラ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1又は 2回	1, 2, 3日	圃場A:0.22 圃場B:0.30
おうとう※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	14, 21日 14, 22日	圃場A:0.32 (2回、21日) 圃場B:0.12
あずき (乾燥子実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
葉ねぎ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.30 圃場B:0.74
根深ねぎ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.90 圃場B:0.82
トマト (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.09 圃場B:0.12 (2回、3日)
ぶどう※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 350L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A:0.08 (2回、30日) 圃場B:0.84 (2回、30日)
ぶどう (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 333, 300L/10a	2回	14, 21, 30, 45日	圃場A:2.39 (2回、21日) 圃場B:0.83
ぶどう (果実)	1	10%フロアブル	40倍常温煙霧 6L/10a	2回	14, 21, 30, 45日	圃場A:0.16
ぶどう (果実)	1	10%フロアブル	85倍常温煙霧 12.8L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A:0.27
さといも (塊莖)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.005 (3回、7日) (#)
さといも (塊莖)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.006 (2回、14日)
さといも (葉柄)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.50 圃場B:0.08
アスパラガス (莖)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.20 圃場B:0.02
ふき (葉柄)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.22 圃場B:0.34
いちじく (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.20 圃場B:0.48
いちじく (可食部)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.45
すいか (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 (2回、1日) (#) 圃場B:<0.01 (2回、1日) (#)
こまつな (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	3, 7, 14, 21日	圃場A:2.84 圃場B:2.28
こまつな (茎葉)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	7, 14日	圃場A:1.22 (1回、7日)
みょうが (花穂)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
ししとう※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.90 圃場B:2.35
ししとう※ (果実)	2	10%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.42 圃場B:0.27
伏見甘長とうがらし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.51 (2回、3日) 圃場B:0.68

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【クロルフェナピル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
モロヘイヤ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 260, 160L/10a	1回	14, 21日	圃場A: 0.36 圃場B: 0.16
あしたば※ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.6 圃場B: <0.3
カリフラワー※ (花蕾)	1	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.38
カリフラワー※ (花蕾)	1	10%フロアブル	2000倍散布 380L/10a	2回	3, 7, 13日	圃場A: 0.154 (2回、3日) (#)
やまのいも (塊茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300, 500L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01 (2回、1日) (#)
やまのいも (むかご)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.57 (2回、7日) (#) 圃場B: 0.66 (2回、3日) (#)
かんしょ (塊根)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
はすいも (葉柄)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.06 (2回、3日)
はすいも (葉柄)	1	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.08 (2回、7日)
ひろしまな (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 1.06 圃場B: 2.74
ネクタリン (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400, 600L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.28 (2回、14日) 圃場B: 0.45
さんしょう (果実)	2	10%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A: 0.72 圃場B: 0.56 (2回、14日)
サラダ菜※ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 260, 300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 7.58 圃場B: 4.38
サラダ菜※ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 4.88 圃場B: 11.6
リーフレタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 2.84 圃場B: 6.14
リーフレタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 11.0 圃場B: 5.66
ミニトマト (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300, 200L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A: 0.20 圃場B: 0.12 (2回、7日)
かぶ (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 9.60 圃場B: 4.66 (2回、3日)
かぶ※ (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.02 圃場B: 0.05 (2回、14日)
かぶ (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 270L/10a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 9.52 圃場B: 5.37 (2回、14日)
かぶ※ (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 270L/10a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 0.02 圃場B: 0.04 (2回、7日)
未成熟えんどう※ (さや)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 460L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.58 圃場B: 0.96 (2回、1日) (#)
すいぜんじな※ (葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 11.2 (2回、3日) 圃場B: 4.0
非結球芽キャベツ (えき芽葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.38 圃場B: 0.24
非結球芽キャベツ (本葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 4.62 圃場B: 5.82
みずな (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	1回	3, 7, 14日	圃場A: 1.28 圃場B: 4.86
山東菜 (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	1回	3, 7, 14日	圃場A: 0.88 圃場B: 1.96
茎ブロッコリー (花蕾と花茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.39 圃場B: 0.72
なばな (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A: 0.96 圃場B: 0.95
マンゴー (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.085 圃場B: 0.080

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【クロルフェナビル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ゴレンシ (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	<u>14</u> , 21, 30日	圃場A:0.74 圃場B:0.74 (2回、21日)
芽キャベツ (脇芽)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	<u>7</u> , 14, 21日	圃場A:<0.05 圃場B:0.08 (2回、21日)
葉にんにく※ (葉と鱗茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200-220, 167L/10a	1回	<u>14</u> 日	圃場A:0.22 圃場B:0.14
みつば (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 100L/10a	1回	<u>14</u> 日	圃場A:1.3 圃場B:0.8
セルリー (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 167, 300L/10a	2回	<u>14</u> 日	圃場A:1.39 圃場B:1.36
コリアンダー (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150, 200L/10a	2回	<u>14</u> , 21日	圃場A:1.50 圃場B:1.48
にがうり※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	<u>1</u> , 3, 7日	圃場A:0.4 圃場B:0.2
エンサイ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	<u>3</u> , 7, 14日	圃場A:<0.05 圃場B:0.91
やなぎたで (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	<u>14</u> , 21日	圃場A:1.45 圃場B:0.55
つわぶき (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	<u>14</u> , 21, 30日	圃場A:0.058 圃場B:0.052
食用ぎく (花全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 493L/10a	2回	<u>7</u> , 14日	圃場A:0.390 圃場B:1.008 (2回、7日) (#)
食用ブリンラ (花器全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	2回	<u>14</u> , 21日	圃場A:0.57 圃場B:0.62
かぼちゃ※ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	<u>1</u> , 3, 7日	圃場A:0.06 圃場B:0.12
バナナ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	<u>14</u> , 21日	圃場A:0.28 圃場B:0.83
よもぎ (葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200-300, 200L/10a	1回	<u>3</u> , 7, 14日	圃場A:3.93 圃場B:4.94

(※) 印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用した。

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

なお、食品安全委員会農業専門調査会の農業評価書(案)「クロルフェナビル」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

クロルフェナピル海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
トマト (果実)	2	21.4%SC剤	0.18-0.21lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A:0.29 (5回、0日) (#) 圃場B:0.29 (5回、0日) (#)
トマト (果実)	2	21.4%SC剤	0.31b ai/A 散布	3回	0, 3, 14, 21日	圃場A:0.14 (3回、3日) (#) 圃場B:0.57 (3回、0日) (#)
ピーマン (果実)	1	21.4%SC剤	0.18-0.21lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A:0.41 (5回、1日) (#)
とうがらし (果実)	1	21.4%SC剤	0.18-0.21lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A:0.63 (5回、0日) (#)
とうがらし (果実)	2	21.4%SC剤	0.21b ai/A 散布	5回	0, 3, 7, 15日 0, 3, 7, 14日	圃場A:0.26 (5回、0日) (#) 圃場B:0.99 (5回、0日) (#)
なし (果実)	3	360g/LSC剤	10-10.8g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A:0.23 圃場B:0.22 圃場C:0.11 (1回、21日)
なし (果実)	2	360g/LSC剤	20-21.6g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A:0.28 (1回、14日) (#) 圃場B:0.28 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	2	360g/LSC剤	10.8g ai/100L 散布	1回	14, 21, 28日	圃場A:0.21 圃場B:0.16
りんご (果実)	2	360g/LSC剤	21.6g ai/100L 散布	1回	14, 21, 28日	圃場A:0.32 (1回、14日) (#) 圃場B:0.26 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	1	360g/LSC剤	12.5g ai/100L 散布	1回	14, 30, 45, 60日	圃場A:0.20 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	1	360g/LSC剤	25g ai/100L 散布	1回	14, 30, 45, 60日	圃場A:0.77 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	2	500g/kgWG剤	25g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日 14, 21, 27日	圃場A:0.42 (2回、14日) (#) 圃場B:0.43 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	500g/kgWG剤	25g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.16 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	240g/LSC剤	25g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.13 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	500g/kgWG剤	25g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.56 (2回、21日) (#)
りんご (果実)	2	500g/kgWG剤	25g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.20 (2回、14日) (#) 圃場B:0.25 (2回、21日) (#)
もも (果実)	2	360g/LSC剤	10-10.8g ai/100L 散布	1回	7, 14, 21日	圃場A:0.48 圃場B:0.22
もも (果実)	2	360g/LSC剤	20-21.6g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A:0.76 (1回、7日) (#) 圃場B:0.67 (1回、7日) (#)

(#) これらの作物残留試験は、作物残留試験が実施された国の使用方法の範囲内で試験が行われていない。
最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米		0.05			0.05 EU	
小麦		0.05			0.05 EU	
大麦		0.05			0.05 EU	
ライ麦		0.05			0.05 EU	
とうもろこし		0.05			0.05 EU	
そば		0.05			0.05 EU	
その他の穀類		0.05			0.05 EU	
大豆					0.1 EU	
小豆類	0.05	0.1	○		0.05 EU	<0.01, <0.01
えんどう		0.1			0.05 EU	
そらまめ		0.1			0.05 EU	
らつかせい		0.1			0.1 EU	
その他の豆類		0.1			0.05 EU	
ばれいしよ		0.1			0.05 EU	
さといも類	0.03	0.1	○		0.05 EU	<0.005(#), 0.006
かんしよ	0.05	0.1	○		0.05 EU	<0.01, <0.01
やまいも	0.05	0.1	○		0.05 EU	<0.01, <0.01(#)
こんにやくいも		0.1			0.05 EU	
その他のいも類		0.1			0.05 EU	
てんさい	0.5	0.5	○		0.05 EU	0.12(\$), 0.05
だいこん類の根	0.1	0.1	○		0.05 EU	0.014, 0.02
だいこん類の葉	3	3	○		0.05 EU	0.27, 1.42
かぶ類の根	0.2	0.1	申		0.05 EU	0.02, 0.05(\$), 0.02, 0.04
かぶ類の葉	15	3	申		0.05 EU	9.60, 4.66, 9.52, 5.36
西洋わさび		0.1			0.05 EU	
クレソン		3			0.05 EU	
はくさい	1	1	○		0.5 オーストラリア	0.14, 0.09
キャベツ	0.7	1	○		0.5 オーストラリア	0.124, 0.22(\$)
芽キャベツ	0.3	1	○		0.5 オーストラリア	<0.05, 0.08
ケール	10	3	申		0.05 EU	みずなを参考(※)
こまつな	5	3	○・申		0.05 EU	2.84, 2.28, 1.22
きょうな	10	3	申		0.05 EU	1.28, 4.86
チンゲンサイ	10	3	○・申		0.05 EU	みずなを参考(※)
カリフラワー	1	3	○		0.5 オーストラリア	1.38, 0.52
ブロッコリー	1	3	○		0.5 オーストラリア	0.38(\$), 0.154(#)
						0.174, 0.420(\$)
その他のあぶらな科野菜	10	3	○・申		0.5 オーストラリア	1.06, 2.74(ひろしまな)、 0.30, 1.38(山東菜)、 0.39, 0.72(茎ブロッコ リー)、0.96, 0.95(なば な)、0.38, 0.24, 4.62, 5.82(非結球芽キャベツ)
ごぼう		0.1			0.05 EU	
サルシフィー		0.1			0.05 EU	
アーティチョーク		3			0.05 EU	
チコリ		3			0.05 EU	
エンダイブ		3			0.05 EU	
しゅんぎく		3			0.05 EU	
レタス	20	3	○・申		0.05 EU	0.21, 0.09(レタス)、7.58, 4.38, 4.88, 11.6(\$)(サラ ダ菜)、2.84, 6.14, 11.0, 5.86(リーフレタス)
						0.22, 0.34(ふき)、 11.2(\$), 4.0(すいぜんじ な)、0.058, 0.052(つわ ぶき)、0.390, 1.008(#)(食用ぎく)
その他のきく科野菜	20	3	○・申		0.05 EU	
たまねぎ		0.05			0.05 EU	
ねぎ	3	3	○		0.05 EU	1.30, 0.74(葉ねぎ)、 0.90, 0.82(根深ねぎ)
にんにく		0.05			0.05 EU	
こら		3				

農産物名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
アスパラガス わけぎ	0.5	3	○		0.05 EU 0.05 EU	0.20, 0.02
その他のゆり科野菜	0.7	3	○		0.05 EU	0.22(\$), 0.14(葉にんにく)
にんじん パースニップ パセリ セロリ みつば その他のせり科野菜		0.1 0.1 3 3 3 3			0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU	1.39, 1.36 1.3, 0.8
その他のせり科野菜	2	3	○		0.05 EU	0.6(\$), <0.3(あしたば)
トマト ピーマン なす	1.0 1 1	1 1 1	○ ○ ○		1.0 アメリカ 1.0 アメリカ 1.0 アメリカ	0.09 0.12(トマト), 0.20, 0.12(ミニトマト) 【0.14(#)-0.57(#)(n=4)】 0.20, 0.36(\$) 【0.41(#)】 0.324(\$), 0.164
その他のなす科野菜	5	1	○・申		1.0 アメリカ	0.90, 2.35, 0.42, 0.27(ししとう), 0.51, 0.68(甘長とうがらし) 【0.26(#)-0.99(#)(n=3)(とうがらし)】
きゅうり かぼちや しろり すいか メロン類果実 まくわうり その他のうり科野菜	1 0.5 1 0.05 1	1 1 1 0.1 0.1 1	○ ○ 緊 ○ ○ ○		0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU	0.166, 0.118 0.06, 0.12(\$) <0.01(#), <0.01(#)
ほうれんそう たけのこ オクラ しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	0.7	3 0.1 1 0.1 0.05 0.05 0.05	○ ○ ○・申		0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU	0.22, 0.30 0.58, 0.96(#\$)
マッシュルーム しいたけ その他のきのこ類		0.05 0.05 0.05			0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU	
その他の野菜	2	3	○		0.05 EU	0.50, 0.08(さといも葉柄), 0.36, 0.16(モロヘイヤ), 0.57(#), 0.66(#)(むかご), 0.06, 0.08(はすいも葉柄), <0.05, 0.91(エンサイ), 0.57, 0.62(食用プリムラ)
みかん なつみかんの果実全体 レモン オレンジ グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実	0.5 2 2 2 2 2 2	0.5 2 2 2 2 2 5	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU 0.05 EU	0.07, 0.03, <0.02, <0.02 0.35, 0.73 0.26, 0.48(ゆず)
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ	2 1 1 0.5 0.5	1 1 1 1 0.1	○・申 ○ ○ ○ ○		0.5 オーストラリア 0.5 オーストラリア 0.5 オーストラリア 0.5 オーストラリア 0.5 オーストラリア	0.291, 0.108, 0.38, 0.420, 0.60, 0.69 【0.13(#)-0.77(#)(n=13)】 0.35, 0.28 【0.11-0.28(#)(n=5)】 【オーストラリアのりんご及びなしのデータを参照】 【オーストラリアのりんご及びなしのデータを参照】

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
もも	0.05	0.1	○		1 オーストラリア	<0.01, <0.01 【0.22-0.76(#)(n=4)】 0.28, 0.45
ネクタリン	1	1	○		0.05 EU	
あんず		5			0.05 EU	
すもも		5			0.05 EU	
うめ		5			0.05 EU	
おうとう	1	5	○		0.05 EU	
いちご	5	0.2	○・申		0.05 EU	0.04, 0.03, 0.30, 1.54(\$)
ラズベリー		5			0.05 EU	
ブラックベリー		5			0.05 EU	
ブルーベリー		5			0.05 EU	
クランベリー		5			0.05 EU	
ハックルベリー		5			0.05 EU	
その他のベリー類果実		5			0.05 EU	
ぶどう	5	5	○		0.05 EU	
かき	1	1	○		0.05 EU	
バナナ	2	1	申		0.05 EU	0.28, 0.83
キウイ		0.1			0.05 EU	
パパイヤ		1			0.05 EU	
アボカド		1			0.05 EU	
パイナップル		1			0.05 EU	
グアバ		1			0.05 EU	
マンゴー	0.3	1	○		0.05 EU	
パッションフルーツ		1			0.05 EU	
なつめやし		5			0.05 EU	
その他の果実	2	5	○		0.05 EU	
ひまわりの種子					0.1 EU	
ごまの種子					0.1 EU	
べにばなの種子					0.05 EU	
綿実	0.5	0.5			0.05 EU	
なたね					0.1 EU	
その他のオイルシード					0.1 EU	
ぎんなん		0.05			0.05 EU	
くり		0.05			0.05 EU	
ペカン		0.05			0.05 EU	
アーモンド		0.05			0.05 EU	
くるみ		0.05			0.05 EU	
その他のナッツ類		0.05			0.05 EU	
茶	40	50	○		0.1 EU	
ポップ		0.1			0.1 EU	
その他のスパイス	10	5	○		0.1 EU	2.24, 0.03, 3.90(\$), 1.69(みかんの果皮)、 0.72, 0.56(さんしょう) <0.05, <0.05(みょうが)、 1.50, 1.48(コリアン ダー)、1.45, 0.55(やなぎ ぎたで)、3.93, 4.94(よも ぎ)
その他のハーブ	10	3	○・申		0.05 EU	
牛の筋肉	0.01	0.05				
豚の筋肉	0.01	0.05				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.01	0.05				
牛の脂肪	0.05	0.05			0.05 オーストラリア	
豚の脂肪	0.05	0.05			0.05 オーストラリア	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05	0.05			0.05 オーストラリア	
牛の肝臓	0.05	0.05			0.05 オーストラリア	
豚の肝臓	0.05	0.05			0.05 オーストラリア	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.05	0.05			0.05 オーストラリア	
牛の腎臓	0.05	0.05			0.05 オーストラリア	
豚の腎臓	0.05	0.05			0.05 オーストラリア	

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
牛の食用部分	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
豚の食用部分	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
乳	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の筋肉	0.01	0.01				
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01				
鶏の脂肪	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家きんの脂肪	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の肝臓	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家きんの肝臓	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の腎臓	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家きんの腎臓	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の食用部分	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家きんの食用部分	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の卵	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家きんの卵	0.01	0.01			0.01	オーストラリア

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。

【 】で示した結果等については、海外で実施された作物残留試験成績を示した。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、作物残留試験成績のばらつきを考慮し、最大残留値を基準値策定の根拠とした。

(※)ケール及びチンゲンサイについては、非結球あぶらな科葉菜類に属することから、非結球あぶらな科葉菜類の「みずな」の作物残留試験成績に基づき基準値案を設定した。

注)しゅうりは個別の作物残留試験成績がないものの、平成14年の農薬取締法の改正に当たり緊急的に農薬登録されたことを踏まえ、農薬取締法の登録保留基準に準拠し、きゅうりの作物残留試験成績を参考に品種差を考慮して、基準値案を設定した。

牛の筋肉、豚の筋肉、その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、鶏の筋肉及びその他の家きんの筋肉については移行性試験の結果に基づき設定した。

(別紙3)

クロルフェナピル推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品群	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
小豆類	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
さといも類	0.03	0.006	0.3	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	0.1
かんしょ	0.05	0.01	0.8	0.2	0.9	0.2	0.7	0.1	0.8	0.2
やまいも	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
てんさい	0.5	0.09	2.3	0.4	1.9	0.3	1.7	0.3	2.0	0.3
だいこん類の根	0.1	0.008	4.5	0.4	1.9	0.1	2.9	0.2	5.9	0.5
だいこん類の葉	3	0.85	6.6	1.9	1.5	0.4	2.7	0.8	10.2	2.9
かぶ類の根	0.2	0.03	0.5	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.8	0.1
かぶ類の葉	15	7.29	7.5	3.6	1.5	0.7	4.5	2.2	16.5	8.0
はくさい	1	0.12	29.4	3.4	10.3	1.2	21.9	2.5	31.7	3.6
キャベツ	0.7	0.17	16.0	3.9	6.9	1.7	16.0	3.9	13.9	3.4
芽キャベツ	0.3	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	10	10	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
こまつな	5	2.11	21.5	9.1	10.0	4.2	8.0	3.4	29.5	12.4
きょうな	10	3.07	3.0	0.9	1.0	0.3	1.0	0.3	3.0	0.9
チンゲンサイ	10	10	14.0	14.0	3.0	3.0	10.0	10.0	19.0	19.0
カリフラワー	1	0.27	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
ブロッコリー	1	0.30	4.5	1.3	2.8	0.8	4.7	1.4	4.1	1.2
その他のあぶらな科野菜	10	1.60	21.0	3.4	3.0	0.5	2.0	0.3	31.0	5.0
レタス	20	7.11	122.0	43.4	50.0	17.8	128.0	45.5	84.0	29.9
その他のきく科野菜	20	7.60	8.0	3.0	2.0	0.8	10.0	3.8	14.0	5.3
ねぎ	3	1.02	33.9	11.5	13.5	4.6	24.6	8.4	40.5	13.8
アスパラガス	0.5	0.11	0.5	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.4	0.1
その他のゆり科野菜	0.7	0.18	0.6	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	1.3	0.3
セロリ	3	1.38	1.2	0.6	0.3	0.1	0.9	0.4	1.2	0.6
みつば	3	1.05	0.6	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.6	0.2
その他のせり科野菜	2	0.45	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.6	0.1
トマト	1.0	0.32	24.3	7.8	16.9	5.5	24.5	7.9	18.9	6.1
ピーマン	1	0.28	4.4	1.2	2.0	0.6	1.9	0.5	3.7	1.0
なす	1	0.24	4.0	1.0	0.9	0.2	3.3	0.8	5.7	1.4
その他のなす科野菜	5	0.99	1.0	0.2	0.5	0.1	0.5	0.1	1.5	0.3
きゅうり	1	0.14	16.3	2.3	8.2	1.2	10.1	1.4	16.6	2.4
かぼちゃ	0.5	0.09	4.7	0.8	2.9	0.5	3.5	0.6	5.8	1.0
しろりり	1	1	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	0.8
すいか	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	1	0.30	0.5	0.2	0.1	0.0	2.3	0.7	0.7	0.2
オクラ	0.7	0.26	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
未成熟えんどう	2	0.77	1.2	0.5	0.4	0.2	1.4	0.5	1.2	0.5
その他の野菜	2	0.60	25.2	7.5	19.4	5.8	19.2	5.7	24.4	7.3

食品群	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
みかん	0.5	0.04	20.8	1.5	17.7	1.2	22.9	1.6	21.3	1.5
なつみかんの果実全体	2	0.54	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
レモン	2	●	2	0.6	0.6	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6
オレンジ	2	●	2	0.8	0.8	1.2	1.6	1.6	0.4	0.4
グレープフルーツ	2	●	2	2.4	2.4	0.8	4.2	4.2	1.6	1.6
ライム	2	●	2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他のかんきつ類果実	2	●	2	0.8	0.8	0.2	0.2	0.2	1.2	1.2
りんご	2	0.41	70.6	14.6	72.4	15.0	60.0	12.4	71.2	14.8
日本なし	1	0.32	5.1	1.6	4.4	1.4	5.3	1.7	5.1	1.6
西洋なし	1	0.32	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
マルメロ	0.5	●	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	0.5	●	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
もも	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
ネクタリン	1	0.37	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
おうとう	1	0.31	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
いちご	5	0.48	1.5	0.1	2.0	0.2	0.5	0.0	0.5	0.0
ぶどう	5	0.76	29.0	4.4	22.0	3.4	8.0	1.2	19.0	2.9
かき	1	0.27	31.4	8.3	8.0	2.1	21.5	5.7	49.6	13.1
バナナ	2	0.56	25.2	7.0	22.6	6.3	17.4	4.8	35.4	9.8
マンゴー	0.3	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	2	0.74	7.8	2.9	11.8	4.4	2.8	1.0	3.4	1.3
綿実	0.5	●	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
茶	40	23.88	120.0	71.6	56.0	33.4	140.0	83.6	172.0	102.7
その他のスパイス	10	1.97	1.0	0.2	1.0	0.2	1.0	0.2	1.0	0.2
その他のハーブ	10	4.44	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4
陸棲哺乳類の肉類	0.05	●	0.05	2.9	2.9	1.6	3.0	3.0	2.9	2.9
陸棲哺乳類の乳類	0.01	●	0.01	1.4	1.4	2.0	1.8	1.8	1.4	1.4
家禽の肉類	0.01	●	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	●	0.01	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
計			706.4	293.8	390.6	153.6	602.3	269.4	781.8	331.2
ADI比 (%)			51.0	21.2	95.1	37.4	41.7	18.6	55.5	23.5

●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。なお、チンゲンサイ及びその他のかんきつ類果実については個別の作物残留試験成績があるものの、みずな及びなつみかんの果実全体の作物残留試験成績に基づき基準値（案）の設定をしたことから、個別の作物残留試験成績の結果は採用していない。

高齢者については畜産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI：推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

平成 8年	4月25日	初回農薬登録
平成17年	9月22日	農薬登録申請（いちご、とうがらし類に係る適用拡大申請）
平成17年10月	4日	厚生労働大臣から食品安全委員会長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年10月	6日	食品安全委員会（要請事項説明）
平成17年11月	29日	残留基準の告示
平成18年	3月1日	第42回農薬専門調査会
平成18年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成18年	7月20日	食品安全委員会（要請事項説明）
平成19年	3月15日	農薬登録申請（かぶ、さやえんどう等に係る適用拡大申請）
平成19年	6月6日	第12回農薬専門調査会総合評価第一部会
平成19年	7月4日	第22回農薬専門調査会幹事会
平成19年	8月9日	食品安全委員会における食品健康影響評価（案）の公表
平成19年	9月25日	食品安全委員会（報告）
平成19年	9月27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成19年11月	6日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成20年	1月30日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

●薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

青木 宙	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
井上 松久	北里大学副学長
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所副所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
加藤 保博	財団法人残留農薬研究所理事
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐々木 久美子	国立医薬品食品衛生研究所客員研究員
志賀 正和	元独立行政法人農業技術研究機構中央農業総合研究センター虫害防除部長
豊田 正武	実践女子大学生活科学部生活基礎化学研究室教授
米谷 民雄	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
山内 明子	日本生活協同組合連合会組織推進本部 本部長
山添 康	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野教授
吉池 信男	独立行政法人国立健康・栄養研究所研究企画評価主幹
鰐渕 英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)